

競技方法

予選(1日目)

3チームによりグループ戦を行う。総当たり戦とする。
各グループとも順位により翌日の順位別トーナメント進出とする。
25点1セットマッチ(デュースなし25点キャップ)
両チームの合計得点が7の倍数にてコートスイッチを行う。
給水タイムアウトは両チームの合計が21点のときにとる。
または、コートスイッチ時に素早く給水をしてよい。
各リーグ1位決定後、決勝トーナメントの抽選を行う。

順位別トーナメント(2日目)

25点1セットマッチ デュースなし(25点キャップ)
男子は、1位T・2位T・3位Tとも8チームのシングルトーナメント。
女子は、1位T・2位T・3位Tとも6チームのシングルトーナメント。
女子については6チームトーナメントなので決勝での敗退チームと準決勝で優勝チームに敗れたチームで2位決定戦を行う。
試合が連続する際は、前の試合の20分後にプロトコールとする。
男女とも1位・2位のチームは、8月15・16日に行われる第10回中学生ビーチバレーボール全国大会に出場する。

酷暑に対する対応

選手の健康を考慮し、今大会では2日間を通じて、以下の①、②を段階的に採用する。

- ① 合計点が21点のときに給水タイムを取る。
- ① コートスイッチ時にベンチに立ち寄り給水を行うことができる。
※①②とも(給水時にベンチには座らない。ミーティングは行わない。)

審判

初日は1st、ラインジャッジ2名、点示1名で運営する。2nd、IFは配置しない。
ラインジャッジは割り当て表の通りとする。
二日目は、1位トーナメントのみ1st.2ndをつける。ラインジャッジ2名点示2名。
2位3位トーナメントは、選手による1st.ラインジャッジ2名とする。
ラインジャッジ・点示は割り当て表の通りとする。

その他

ボールは1ボール制。予備ボールを各コートに1つ用意する。
チームスタッフのコーチングはタイムアウト中のみ行える。
※コートサイドでの応援はよいが、コーチングはしてはならない